

## 令和5年1月5日部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和5年1月5日（木） 午前8時35分から午前10時10分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎7階 第一・二委員会室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長（代）、環境部長、商工観光部長、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長（代）、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

### ◇会議内容

#### <市長あいさつ>

- ・新年明けましておめでとうございます。  
皆様にとりまして今年もよい年になることを心から祈念を申し上げる。
- ・私も一生懸命市長の役割を進めて参りたい。部局長さんをはじめ職員の皆様へお力添えをお願いする。
- ・昨年は公約を実施、実行することができた。
- ・今年2月には、新たな放課後子ども総合プラン事業を担うながのこども財団の設立が予定をされている。各部署において、新年度に向けて今年度の事業を確実に完了させていただきたい。
- ・1998年の長野のオリパラから25年目の節目を迎える。この長野から改めてオリンピックの価値観を発信していきたい。
- ・台風災害からの復興は、今年も引き続き、被災地の皆様の暮らしの安定のために、特に心の復興に取り組んで参りたい。
- ・新年度予算編成についての基本方針は、未来へのチャレンジと変化の兆しである。既存の施策事業をアップデートバージョンアップするとともに、新しいことに市役所が率先してチャレンジをする。
- ・職員には健康に十分留意していただき、元気に仕事に励んでいただきたい。

### 1 協議

#### （1）第八次長野市行政改革大綱（案）に対する市民意見募集（パブリックコメント）の実施について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

##### ○質疑なし

##### ○今後の方向性

原案を了承

#### （2）組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料2参照）

##### ○質疑

〔西澤副市長〕組織改革は、変化・チャレンジが市民から見て取れるためアピールになる。企業誘致、農業の推進等、市長が特に力を入れているところは、組織の再編で見せることもできる。他に検討しているものがあるか。

〔総務部長〕産業関係、特に商工の関係については、工業関係の課の新設が必要という話は聞いている。

農業関係については、新たにチャレンジをしていくように、何か考えなければいけない。

スポーツ関係では、プロスポーツと地域との連携について、強く打ち出していく必要があるだろうということで、担当部局と調整している。

#### ○今後の方向性

原案を了承とし、更に調整をお願いする。

### (3) 災害時備蓄品等整備計画の改定について（総務部）

標記事項について、危機管理防災監から説明した。（資料3参照）

#### ○質疑

〔保健所長〕 備蓄については、周辺の市町村との協定など相互に活用し合う記載が必要かと思うが、その辺を教えてください。本市が周りに応援するパターンが実際に多いかもしれないが、広域連合等もあるので、そういった中での備蓄の計画も必要と思う。

〔危機管理防災監〕 国・県・他自治体との連携等については、今後の課題として調査研究をして連携を図っていくことを記載しており、今後の課題として取り組んでいきたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承

### (4) 新型コロナウイルス感染症に係る法人市民税均等割減免措置の延長について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料4参照）

#### ○質疑なし

#### ○今後の方向性

原案を了承

### (5) 下水道使用料の決定及び長野市下水道事業経営戦略（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明した。（資料5参照）

#### ① 下水道使用料の決定について

#### ○質疑

〔財政部長〕 今のエネルギー価格の上昇が水道経営にも影響を与えていると思われるが、見通しについて教えてほしい。

〔上下水道局長〕 現在の電力の高騰についての対策は、12月に令和4年度分の補正を組んだ。

令和5、6年度においては、高い水準の電気料金とし動力費がかかると見込んでおり、それ以降については、これまでの実績を踏まえシミュレーションを行っている。

#### ○今後の方向性

下水道使用料については、原案を了承

#### ② 長野市下水道事業経営戦略（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について

#### ○質疑

〔環境部長〕 水道は広域化の計画がされているが、それとの整理はどのようになっているのか。

〔上下水道局長〕下水道事業の経営においては、直接、水道の広域化との影響ということはない。ただし、今後の下水道事業の事務については、別途広域化の中で検討を進めていくと考えている。

〔企画政策部長〕耐用年数の見直しについては、建築等については耐用年数が1.5倍であり、それなりに手法もあると思うが、機械・電気設備のポンプや受変電装置、コンピュータのバージョンアップ等については単純に1.5倍で大丈夫なのか。

〔上下水道局長〕過去の実績から、目標耐用年数を標準耐用年数の1.5倍に決めているが、できるだけ長く使うことを前提にしている。

#### ○今後の方向性

パブリックコメント実施については、原案を了承

## 2 その他

### (1) 都市ブランド創出に向けた市民意識等の調査結果について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明した。（資料6参照）

#### ○質疑

〔松山副市長〕各部局長の皆様には是非お願いしたい。

行政がなぜ都市ブランドをやるのかということ、企画政策部だけに限らず、是非各部局長の頭の中に置いておいていただきたい。

具体的に、政策がこれにどう紐づくのかということが都市ブランドの実効性を高めることであり、最終的に政策に紐づくことが行政の作る都市ブランドそのもの。それがないと言葉と記号が踊るだけになる。

様々な自治体でこのような取り組みをされているのは承知しているが、言葉と記号が踊っている自治体が非常に多い。

荻原市政が始まって新しい感じは出せるかもしれないが、是非政策的な観点で、どういう政策をこの都市ブランドに紐づけていくのかという視点で積極的にこの調査結果などを見ていただきたい。

〔企画政策部長〕政策の紐づけについては大変重要なところ。

政策の部分についてのワードを前面に打ち出したタグラインでそういったものを作ると面白みがなくなる。できるだけ政策の可能性を感じられるようなワードを今模索している。

そこに紐づけていく政策は、各部局で長野市として打ち出していくことになるので、是非その部分をお願いします。

### (6) 長野運動公園総合体育館整備外事業のプロポーザル実施について（文化スポーツ振興部）

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明した。（資料7参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕1点目、プロポーザル参加資格について、代表者が市内事業者となることも有りうるのか。

2点目、代表者の総合評価値が1400点以上という考え方・理由を教えてください。

〔文化スポーツ振興部長〕1点目、1400点以上の市内事業者は2社ある。市内事業者も代表者になることができる。

2点目、今回大変スケジュールがタイトな事業であり、代表者については体育館等類似の建設の実績を調査した結果、1400点以上とした。

#### ○今後の方向性

原案を了承

### (7) 国民スポーツ大会の競技会場変更について（文化スポーツ振興部）

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明した。(資料8参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(2) 消防団の組織見直しについて(消防局)

標記事項について、消防局長から説明した。(資料9参照)

○質疑

〔保健所長〕 消防力がこの統合によってどの程度影響を受けるのか。組織は統合するが実際の消防活動能力はあまり変わらないのであれば住民は安心できると思うが、その影響を説明する必要があると思うがいかがか。

〔消防局長〕 今まで小さな分団での出動、体制であったが、今回それが大きなグループで一つの災害に対しての初動体制をとるため、人力機動力の確保ということで地元理解をいただいている。

〔保健所長〕 現場に行く時間やそこに集まる数には影響はないという理解でよろしいか。

〔消防局長〕 今よりも動員力は増強するのではないかという想定である。

〔保健所長〕 移動距離については、これまで各地区に分団を置いていたが、遠くなることはないということか。集まれる人が単純に増えるということで時間は伸びないという理解でよろしいか。

〔消防局長〕 消防団の方々はサラリーマンであり、平日の昼間はなかなか集まらない。その部分は、常備消防の方でカバーし、消防団の方々には、一般の火災に関してはあくまで後方支援活動をいただく。大規模災害の時には動員力で活動をお願いしたいと思っている。

〔企画政策部長〕 今の部分は、説明の中で重要な観点かと思うが、資料の中に書き込めるか。

〔消防局長〕 今は言葉だけで表現をしているが、イメージ図等で工夫をして説明したい。

〔企画政策部長〕 統合や適正化という言葉が多く出てきている。初動体制の確保を図ることや、安心感のワードが入るよう検討をお願いします。

○今後の方向性

原案を了承